



1/カヌー・カヤック体験で水しぶきを上げる仙台市立幸町中学校の生徒(5/10) 2/滝の上で記念撮影をする仙台白百合学園中学校の生徒(5/19) 3/漁師体験でとれた魚と記念撮影をする仙台市立館中学校の生徒(5/16) 4/二子漁業生産部でウニをすくう仙台市立館中学校の生徒(5/16) 5/カヤックから落水する仙台市立幸町中学校の生徒(5/10)

体験型の教育旅行 山と海で「こころの交流」

山形町と侍浜町を中心に今年初の教育旅行の受け入れが始まりました。4月26日の仙台市立鶴谷中学校を皮切りに5月26日までの期間に仙台市や横須賀市の中学校7校、約1100人が久慈市を訪れ、2泊3日の交流を楽しみました。シャワークライミングやカヌー・カヤック体験で、生徒たちは全身ずぶぬれになり大はしゃぎ。農業・林業・漁業体験では自然の大切さ、山・海の恵みのすばらしさを楽しみながら学びました。農家や漁家などの民泊体験で、都会では味わうことのできないとれたての魚や農産物と、民泊家庭の温かな人柄に触れた生徒たちは、夏に久慈に来ますと話していました。

平成17年度より旧山形村で本格的に始まった体験型教育旅行。今ではすっかり地元に着し、民泊家庭や体験インストラクターなどの「こころの交流」が図られています。

INTERVIEW

民泊のごはんに感動

2泊3日の短い期間だったけど、仙台では味わえない生活やいろいろな体験ができました。民泊先の漁師のじいちゃんがとってきた魚やタコを、ばあちゃんがごはんにしてくれて、とってもおいしかったです。楽しい思い出ができました。機会があったらまた久慈に来たいと思います。



まつした あゆま
松下 歩慎 くん

(仙台市立幸町中・2年)

落水も貴重な体験

久慈での自然体験はどれも面白くて、夢中で体験していました。カヤック体験でもうまく漕いでいたつもりが、勢い余って落水。しかも2回も…とても怖かったです。久慈は涼しく、濡れたシャツでは凄く寒かったけど、貴重な体験ができました。とても楽しかったです。



すがわら ひろし
菅原 鴻 くん

(仙台市立幸町中・2年)